

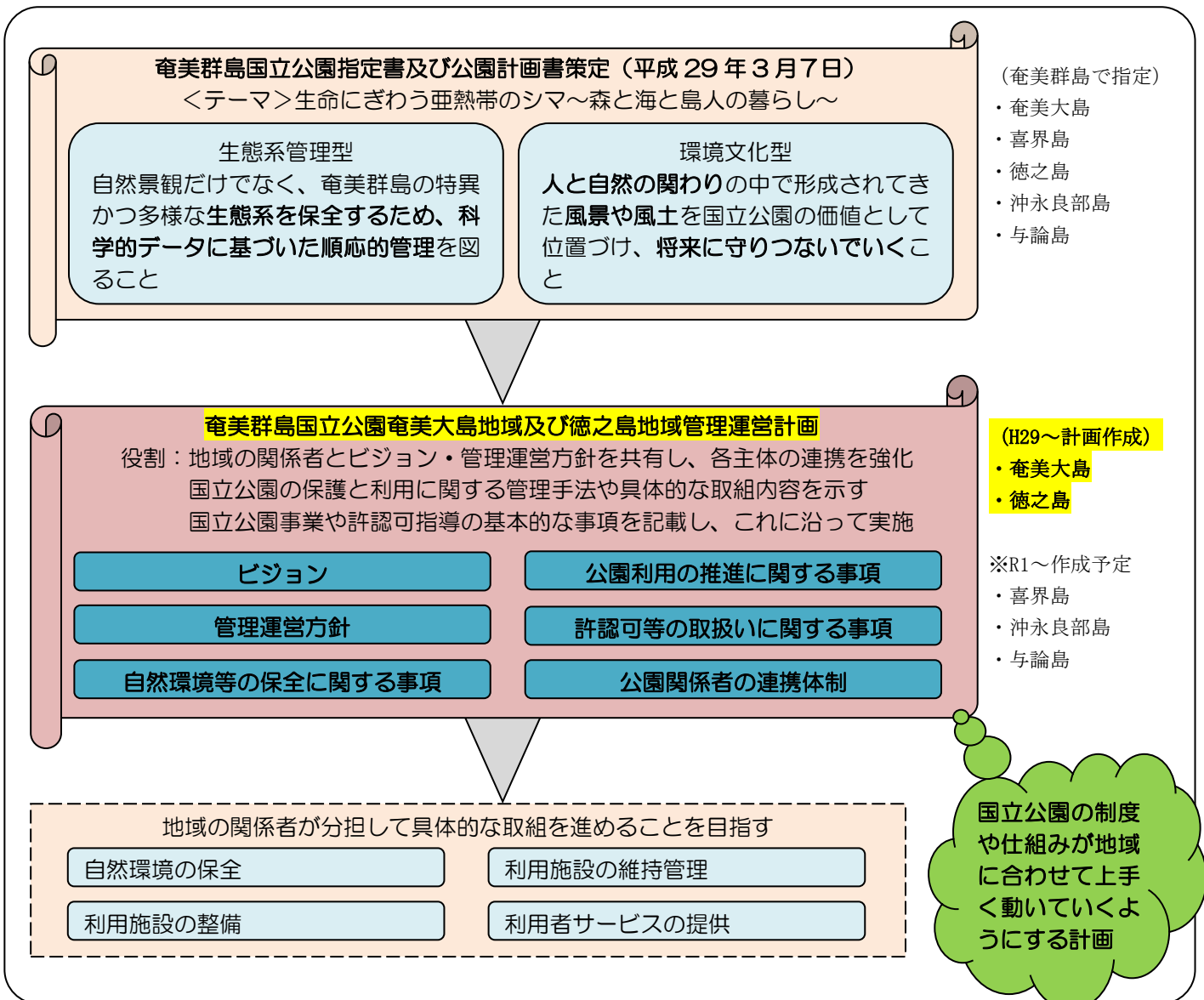
奄美群島国立公園奄美大島地域及び徳之島地域管理運営計画の検討業務

■調査の背景・概要

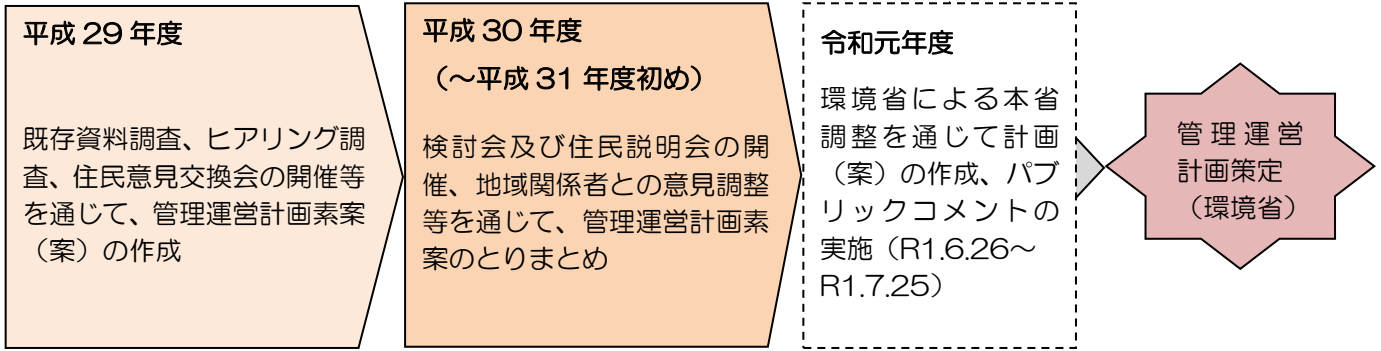
世界自然遺産登録を目指す奄美群島の奄美大島・徳之島では、そのための国内法上の保護担保措置を確立する必要性もあり、平成 29 年 3 月に我が国で 34 番目の国立公園として指定された。この奄美群島国立公園は「生態系保全型」と「環境文化型」という従来にない 2 つの新しい考え方を掲げており、地域との協力なしには成立しえない国立公園、またそうした特質を持った世界自然遺産候補地と位置づけられている。このため、地域の実情に即した管理運営を行うべく多様な関係者とともに策定する「国立公園管理運営計画」が重要な役割を果たすことになる。

本調査は 2 ヶ年にわたり、地域の関係者と国立公園の目指す姿や将来目標、国立公園の保護と利用の推進すべき方向性について認識を共有しながら、管理運営を協働により進めていくための計画を検討することを目的として、地元 8 市町村でのヒアリングや住民意見交換会、有識者や島内関係機関等で構成する検討会の開催等を実施し、計画書の素案とりまとめに至った。



【奄美群島国立公園奄美大島地域及び徳之島地域管理運営計画の位置づけ】



■調査の流れ



■調査内容

年度	項目	内容
H29	既存資料調査／ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> 国立公園の施設状況や利用状況及び管理状況、奄美大島と徳之島の地域イメージの把握 計画課題に関する情報収集とともに、計画作成に向けて関係行政機関の理解促進・協力要請
	住民意見交換会 (奄美大島5市町村、徳之島3市町村の計8カ所で開催)	<ul style="list-style-type: none"> 国立公園や管理運営計画の紹介、自然環境・景観保全と地域の魅力づくりをテーマにしたワークショップ、環境省レンジャーとの意見交換を実施 意見交換では、地域の方々が感じる課題や論点について、環境省レンジャーと地元の参加者との対話形式で率直な話し合い 
H30/ H31	検討会 (計3回開催)	<ul style="list-style-type: none"> 有識者3名と島内関係機関等で構成する検討会を開催し、計画策定に向けて、基本的方向性の確認→骨子案の検討→計画案の項目ごとの内容を検討 検討会前後で、環境省より関係行政機関等への意見照会・調整が行われ、許可の必要な行為の審査基準等の具体化も並行して進める 
	住民説明会 (奄美大島4市町村、徳之島1地域の計5カ所で開催)	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営計画の紹介、地域の自然環境の保護と利用をテーマにしたグループ討議、環境省レンジャーとの対話形式による意見交換を実施 住民の計画全体に対する内容理解の増進を図るとともに、国立公園への期待や計画に対する意見、自分でもできそうな活動等についてディスカッション 

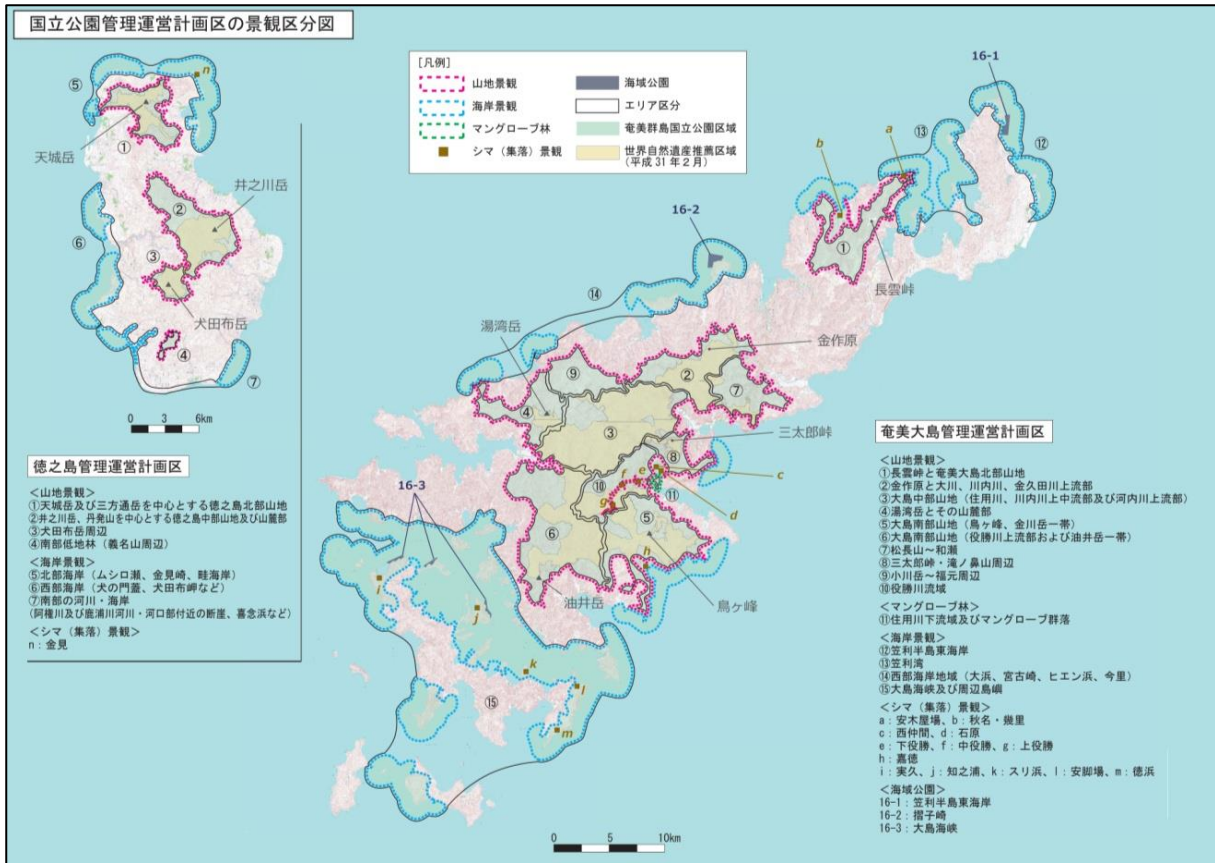
計画作成にかかる情報収集・整理

計画作成に向けた地元との意見交換・認識共有

行政計画への落とし込み

計画に対する地元の理解増進・意見交換

(参考1) 国立公園管理運営計画区の景観区分図



(参考2) 検討会で挙げたさまざまな意見や要望（抜粋）

■ 検討の進め方や連携体制について

- ・農林水産業者の意見も聞いて検討を進めるべき
- ・特に許認可に関する事項は、環境省と鹿児島県で十分な意見調整が必要。行政の道路部門や公共事業部局とも調整を。住民意見も反映すべき
- ・モニタリング計画など世界遺産関連の計画との連携の明記を。また、世界自然遺産の管理スキームとの連携体制を今後明確化してほしい
- ・計画策定後は、一般の方への周知徹底を

■ 計画エリアの捉え方について

- ・公園区域外の事例（盗掘・盗採問題や新たな固有種の発見など）への対応がとれるようにならないか
- ・島全体の魅力向上のために必要なことを今後も議論していくことが重要
- ・どこかの段階で、奄美群島全体についての統一的な考え方も持ってほしい

■ 基本方針について

- ・奄美大島と徳之島はビジョンや管理運営方針は共通するが、両島の地域特性の違いにも留意が必要
- ・農業の島である徳之島では、農業の観点も入れてほしい

■ 自然環境等の保全について

- ・盗掘・盗採問題が大きな問題
- ・道路工事に伴う外来植物の処理問題など公共工事のあり方が心配
- ・固有種、希少種、外来種のデータ集積が必要
- ・ノネコ対策も重要。市長村による飼育猫対策との連携明記を
- ・集落景観について保全すべき対象の枠組みを示してほしい
- ・環境文化の取組は、集落との連携促進の積み重ねが重要
- ・保全に対する住民の役割を明記すべき

■ 公園利用の推進について

- ・エコツーリズムの考え方が今後も重要になる
- ・車の速度制限などナイトツアー利用のルール設定を進められないか
- ・観光ツアーの主要地である金作原の利用の方向性を早く決めてほしい

■ 許認可に関する事項について

- ・希少種保全と林業施業との両立が大きな課題
- ・木竹の伐採について、「留意事項」に景観確保のための必要な通景伐採のことを明記すべき